

ふるさと 通信員だより

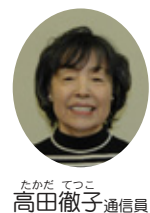
vol.192

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



「来場者や道行く人に楽しんでほしい」とバランスに気を配りながら手際良く植えていきました。この事業は、10年ほど前から同会が主体となり毎年整備を続けています。サルビアの季節が終わる10月初めには、次の春のためにチューリップの球根を植え替える予定です。

老人クラブ中央福寿会(高田常夫会長、会員69人)と南部福寿会(小笠原勇会長、会員40人)と東部福寿会(今井武会長、会員62人)の3福寿会が、総合福祉センター前の花壇整備を実施しました。春を彩ってくれたチューリップの球根を掘り出し、代わりに赤いサルビアの苗210本を植えました。

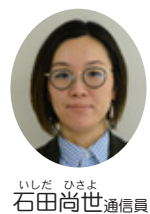


たかだ てつこ
高田徹子 通信員

来場者を出迎える
花壇の手入れ



音更フルコンタクト空手スポーツ少年団・日本空手道・鈴木道場(鈴木淳世代表・北鈴蘭北)は新型コロナウイルスの影響による活動自粛を終え、稽古を再開しました。満4歳から社会人までと一緒に稽古を行い、色帯の部員が子どもたちの指導のサポートをします。しかし、まだまだ通常の稽古はできない状況のため、特に接触を避けることを意識し、体力作りや基本練習を中心としています。誰もが空手の醍醐味「組手」の練習を待ち望んでいます。鈴木代表は「こんな時だからこそ初心に戻り、基本稽古を大切に」と部員の皆さんへ話をしています。随時、見学・体験を受け付けています。(鈴木代表 ☎090-1863015599)



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

再開!
基本を大切に